

## ○ 夕張市の現状

夕張市はかつて炭鉱の町として発展を遂げた。1970年の人口は11万人弱、しかし、炭鉱閉鎖後は人口流出が進み、2005年には、1万3千人まで人口が減少した。炭鉱閉鎖後は、メロン栽培、観光事業が主要産業となっていた。

なぜ、こうなったのか？

- ・ 人口の減少に伴い市税や地方交付税が大幅に減少する一方で、歳入の減少に対応したサービス水準の見直しや人口の激減に対応すべき組織のスリム化も大きく立ち遅れ、総人件費の抑制も不十分であったこと。
- ・ 地域振興のための観光施設整備による公債費等の負担が増大になったこと。
- ・ 第三セクターの運営に対する赤字補てんが増大になったこと。
- ・ 財政状況が逼迫する中で、一時借入金を用いた会計間での年度をまたがる貸付・償還という不適正な会計処理を行い、赤字決算を先送りしてきたこと。

その結果

負債総額 約632億円

\*この負債総額は、市の標準的な財政規模の約1.4倍

自力での再建は困難ことから

⇒ 地方財政再建促進特別措置法 ⇒ 地方財政再建団体